

## 誌上講座 [ 第2回 ]

平和と共生は男女共同参画の視点から

アドラー心理学

“タテの関係ではなくヨコの関係を”

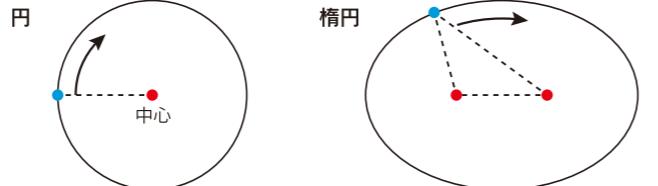
アドラーは私たちの悩みのほとんどは人間関係に起因し、望ましい人間関係は「ヨコの関係」であるとした。「男女共同参画」も端的に言えば「人間関係の課題」ともいえ、男女の間をはじめとして平等な関係の実現を求めるものである。アドラーの勧めるヨコの関係とは「対等な関係」である。それに対する「タテの関係」とは、例えば「私は正しくあなたは正しくない」「私は勝ってあなたは負けた」「私は上であなたは下」「私は優れていてあなたは劣っている」「私は多数派であなたは少数派」というようにすべてを「正誤・勝負・上下・優劣・正邪・多少」で判断してしまう関係のあり方を指す。このタテの関係からは差別化が進むだけで2者間のふれあいは起こらない。平和の実現には対話の文化が必要である。「対話」とは「対等な会話」の省略形だと私は思っている。対等の人間関係でなければ絆やふれあいは形成できないからである。最近世相を騒がすスポーツ界の「パワーハラスメント」や政界にまつわる「忖度」、教育界での「いじめ」や子育てでの「虐待」、家庭でのDVなどの問題の元には関係性の取り方の未熟さと対等な感覚の欠如が認められる。では対等な関係とはどのようなイメージであろうか考えてみたい。

### 1. 健康な人間関係は「円」ではなく「楕円」をイメージしよう。

私が小学校教師の時にコンパスを用いて「円」を教えないといけなかった。子どもたちに身体で「円」を実感してもらいたくてみんなで運動場に出た。ポールを2本立ててその間にロープをかける。片方のポールを持つ子に「君は動いてはいけないよ」と言い、もう一方の子に「君が走りなさい」と指示する。運動場に大きな円が描き上がる。動かなかつたポールを指して「これを中心と言います。みんな見ていたでしょう。ここからの長さは皆同じ長さです。これを“半径”と言います。こうやって円を教えた。

次にこの時期には教えるでもいいのだけれど、学習への興味付けに「楕円」を知つてもらう。「円が少しつぶれたようなきれいな图形、楕円を描いてみようか」といい、ポールを3本立てる。その3本にロープをかけて、そのうちの2本のポールを持つ子に「動いてはいけないよ」と言い3本目を持つ子に「君が走りなさい」と指示する。するときれいな楕円が描きあがる。動かなかつた2本のポールは焦点と呼ばれ、動いた3本目の描いた軌跡が楕円になる。つまり楕円には中心(焦点)が2つあり、その2点との距離の合計量が常に等しくなるのが3本目の描く楕円なのである。「楕円には全く対等である2つの中心があり」2点との距離の合計量(例えると2人の幸せの合計量)が常に等しいのがこの楕円という图形なのである。

講師プロフィール  
北九州市立大学 名誉教授  
西南女学院大学保健福祉学部 教授  
なかしま しゅんすけ  
中島 俊介さん  
臨床心理士。北九州市人権施策審議会会長。原爆投下予定地小倉から長崎まで220キロを自転車リレーでつなぐ等の「平和の駅運動」を8年間行っている。



この楕円が教えてくれるように対等な感覚とは「自分と対等なもう片方があることを常に意識できること」である。人間関係では「円」のように自分を中心軸に考えてはいけない。この世の中は楕円の構造である。自分と全く対等の中心がもう片方にあることを常に忘れないようにしたい。目の前の人との幸福の合計量が同じ「ウイン-ウイン関係」(平等)を目指したい。夫婦関係では「夫と妻」はどちらも中心であり対等である(夫婦楕円満)、親と子も対等、社長と従業員もしかりであります。この「対等の感覚を人権感覚」と呼びたい。

### 2. 対等の感覚に基づく会話(対話)の基本原則

妻に言われたことがあった。「あなたには一生分からないことがある」。何のことか聞くと、「あなたには姓の変わる悲しさは一生分からないでしょう」と言われた。そんなことは考えたこともなかった。確かに私はずっと「中島」である。妻は「内山」から「中島」に変わった。常にその人の身になって考えなさいと言いたかったのだ。対等の関係から「共感・共生」は生まれる。平和と共生を目指す「対話の基本原則」を知っておこう。

- ①ヨコの人間関係が保証され、完全に対等であること。我が国では3つの上位者(年齢・役割と責任・経験の差)には尊敬語や丁寧語を使う文化がある。しかしそれに縛られ影響されない主体性を保つ勇気を常にもつこと。
- ②まず相手は目の前の一人であること。そして当然こちらも一人であること。**(1対1の原則)**
- ③相手の語る言葉を忖度などして勝手に解釈することなく、**相手の言葉を文字通り問題にする**。不明な場合は質問と確認によって正確を期すこと。
- ④自分の育んできた**体験から生じる実感や感情**を無視することなく、むしろそれらを活用、応用する態度で語り、聞き、考えること。
- ⑤どのような**相手の質問や疑問も尊重して禁じることがあってはならない**。
- ⑥相手に偏見や予断を持つなどして**レッテルを貼ることがないように**。相手を固有の価値ある一人として見ること。
- ⑦どのような相手の**質問に対しても誠実に答えようと努力すること**。
- ⑧相手との対立や相違点を避けたり隠そうとする態度ではなく、むしろ相手との**相違点や対立を積極的に見つけて議論しようとする**こと。(どんな意見も一理ある)
- ⑨世間の常識や社会通念に縛られることなく、**常に新しい解決と了解へと果敢にチャレンジすること**。
- ⑩相手と見解や結論が「同じか違うか」ばかりに気にすることなく、相手とのわずかな「差異」でもこれを大切にし、それを創造的に「発展」させようとすること。
- ⑪対話の中で自分や相手の意見が変わることに対して、**寛容**で開かれていること。
- ⑫対話は今ここにおいて**独立**しており、以前の対話の発言から今度も同じ意見のはずだと考えたり、あるいは違う意見を持っているはずだというような先入観を持たないことを。
- ⑬対話の相手とはそれが**出会い**であるということを肝に銘じたい。その不思議な因縁に心を以て行われる対話は、両者にとっても社会にとっても有益である。

今回の最終回は「平和と共生を阻害するもの」について考えたい。

## 特集2

### セクシュアル・ハラスメントをなくすために 一時代の転換をめざしてー



#### 講師プロフィール

お茶の水女子大学名誉教授

かいのう たみえ  
戒能 民江さん

専門はジェンダー法学、女性に対する暴力研究。厚生労働省「精神障害労災認定基準専門検討会」セクハラ事案分科会委員等を歴任。性暴力禁止法ネット共同代表。女性と人権全国ネット共同代表。



の官房長は「(被害者が名乗り出るのが)そんなに苦痛なのか」と悪びれずに発言して顰蹙を買った。セクハラとは、権力や力関係の差、立場の優位性を利用し、相手の心身を傷つけ、その後の生活まで影響を与える性的言動を指す。日本の政治家や官僚トップがセクハラを生み出す権力構造をまったく理解していないことが露呈されるとともに、自らの権力性について客観視できなくなっている状況も明らかになった。

また、麻生大臣の相次ぐ「セクハラ二次加害発言」が垂れ流しになつたことにも驚かされた。「はめられて訴えられたという意見がある」とか、「セクハラ罪という罪はない」という発言まで飛び出した。被害者が言えない、訴えることが難しい「関係性」が問題であることや、セクハラの影響の深刻さをまったく理解していないのだ。

#### 私たちの課題は何か

麻生大臣や柏江市長は何も例外ではない。セクハラが「やってはいけない人権侵害」であることが社会の規範となつていなかということだ。

大体、日本にはセクハラを禁止した法律がない。雇用機会均等法では職場のセクハラ防止と対応についての事業主の措置義務が規定されているにとどまる。DV防止法ができたことで、黙っていなくてもよいというメッセージが女性たちに届いたことを想起したい。徹底的に議論して、セクハラ禁止法制を早急に導入すべきである。

もう一つはセクハラを「女性の問題に閉じ込めない」ことである。セクハラは「男性問題」であり、男性が他人ごとだと思わず、男性性を自ら問うことをしなければ、セクハラも性暴力もDVもなくなる。性差別社会を変えていくためには、どんなに難しそうに見えても、#WeTooで女性が女性を支え続けて声を上げやすくなることと、「男が変わること」に真正面から男が取り組むことしかない。その意味で、「セクハラノー」は時代の転換を拓くものである。

#### 財務省事件からみえてきたこと

財務省事件では、問題の核心に迫ることなく、事務次官の辞職で幕引きが図られた感が強い。

財務省事件が私たちに突き付けたのは、セクハラ軽視・無視社会の現実であり、被害を受けて声をあげた当事者へのバッシングや二次加害のすさまじさである。

事務次官は「言葉遊びで楽しんだくらいでセクハラだなんて。何を騒いでいるのか」と最後まで思っていたようだったし、部下

# おすすめ行事紹介

## 英会話講座

第3期

アットホームな雰囲気の中、各レベルに合わせた授業を行います。

- 日 時: 12月19日(水)~3月13日(水) (全12回・毎週水曜日)
- 定 員: 各コース15名
- 対 象: 初級/英検3級程度、中級/英検2級程度
- 時 間: 初級/13:00~14:30、中級/19:00~20:30
- 受講料: 初級/12,000円、中級/15,000円
- 託 児: 初級のみ有 6ヶ月~就学前まで  
(1人500円 要事前申込み)



### お問合せ・お申込み

事業課 TEL:093-288-6262 FAX:093-583-5107  
はがき、FAX、ムーブホームページにて受付。

## 父と子の料理教室

父と子で食の大切さと料理作りを楽しく学びます。

- 日 時: 12月15日(土)13:00~16:00
- 定 員: 12組(抽選)
- 対 象: 4歳から小学4年生までの子どもと男性保護者
- 受講料: 大人1,000円 子ども600円(材料費込み)



お問合せ・お申込み 事業課 TEL:093-288-6262 FAX:093-583-5107  
はがき、FAX、ムーブホームページにて受付。

## 男女共同参画啓発講演会

### 「#ムーブ女子計画 —わたしたちのココロとカラダと未来の話—」

冊子『若年層の女性の健康 見つめよう、ココロとカラダ。』の発行に伴い、講演会を開催します。若年層の女性の心の健康、体の健康、そして生き方の3つの視点から、3名の講師にお話を聞いていただきます。

- 日 時: 11月18日(日) 13:00~15:00
- 会 場: ムーブ5階 小セミナールーム
- 定 員: 50名(先着順、無料)
- 託 児: 有 6ヶ月~就学前まで(1人500円 要事前申込み)

お問合せ・お申込み 情報課 TEL/FAX:093-583-5082  
TEL、FAX、ムーブホームページにて受付。



【講師】  
嶋井 元子さん (助産師)  
黒瀬 まり子さん (臨床心理士)  
宮坂 春花さん (大学生)

## おはなし会

ムーブ図書・情報室では、3歳以下の子どもと保護者を対象に、毎年8月と12月に、おはなし会を開催しております。読み聞かせには、親子のスキンシップ、子どもの言葉の発達など様々な効果があるといわれています。たくさんのご参加、お待ちしております♪

- 日 時: 12月初旬予定 ■お申込み開始日: 11月初旬予定



お問合せ 情報課 TEL/FAX:093-583-5082

好評につき  
第2弾開催!

北九州市総務局女性活躍推進課からのお知らせ

経営者・管理職のための  
**働き方改革&イクボス・マネジメント講座 入門編**

～人材確保・生産性向上に向けた  
はじめの一歩はここから～

すぐに実践できる働き方改革のポイントをお伝えします!

「長時間労働」「売上低迷」「社員の士気低迷」「人材の確保・定着」…この企業の共通課題を解決する糸口が「働き方の改革」であり、それを進めるキーパーソンが「イクボス」です。本講座では、市内企業の経営者や管理監督者を対象に、「イクボス」の考え方や、具体的なマネジメント方法を学びます。限られた人材、限られた時間の中で生産性を高め、業績好調を実現しましょう。

■日 時: 11月2日(金)13:30~17:00(13:00開場)  
■場 所: 新小倉ビル 6号会議室  
(北九州市小倉北区米町米町2-2-1-B1)  
■講 師: (株)サイズラーニング代表取締役 高見 真智子さん  
■定 員: 80名程度

お問合せ 北九州市総務局 女性活躍推進課  
TEL:093-582-2209

◆パネルディスカッション ◆支援策・活用例の紹介など

お問合せ ウーマンワークカフェ北九州  
TEL:093-551-0091

### (公財)アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)からのお知らせ

## 第29回アジア女性会議—北九州 『オリンピック・パラリンピックとジェンダー』の開催

国際オリンピック委員会(IOC)では、男女平等を実践するため、スポーツにおける女性の地位向上を奨励・支援しています。今回は、オリンピックにおける男女平等へ向けた取組み、オリンピック・パラリンピックなどについて学びながら、私たち一人ひとりがオリンピック・パラリンピックを広い視点で捉え、行動できるきっかけとなるよう考えています。

- 日 時: 11月17日(土)13:00~16:00
- 会 場: ムーブ5階 大セミナールーム
- 定 員: 150名(先着順)
- 託 児: 有 6ヶ月~就学前まで (1人500円 要事前申し込み)

### パネルディスカッション

【パネリスト】  
山口 香さん (筑波大学大学院 体育系 教授/  
公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)理事)  
荒井 由希子さん (国際労働機関(ILO)ジュニア本部多国籍企業局上級専門家/  
東京2020招致委員会国際部ディレクター)  
下條 貴弘さん (日本航空株式会社執行役員、コミュニケーション本部長/  
東京2020オリンピック・パラリンピック推進担当)



【コーディネーター】堀内 光子 ((公財)アジア女性交流・研究フォーラム 理事長)

お問合せ・お申込み (公財)アジア女性交流・研究フォーラム TEL:093-583-3434 FAX:093-583-5195 URL:<http://www.kfaw.or.jp/>

### KFAWタイ・スタディツアーアート2018 の参加者を募集します

12月11(火)~16日(日)、タイ王国(バンコク、チェンマイ)を訪問し、タイ社会についての理解を深めると共に、アジア太平洋地域におけるジェンダー平等の達成にむけた課題について考えるためのスタディツアーアートを実施します。

旅行代金は161,000円(タイ航空/福岡発着利用/ホテル1名1室利用/空港税、燃油サーチャージ込)。

訪問予定地は、国連開発計画(UNDP)、プラティープ財団/クロントイ・スラム視察、国際移住機関、チェンマイ大学などです。先着20名までです。

皆さまのご参加をお待ちしています!

### 東部勤労婦人センター レディスモジ

#### 馬頭琴コンサート

～モンゴルの広い大地や躍動的生活を表現した曲をお楽しみください～

- 日 時: 11月11日(日) 13:30~15:00
- 定 員: 150名(先着順)
- 参加費: 無料
- 対象者: どなたでも
- 託 児: 有 1歳~就学前まで(1人200円 要事前申込み)
- 申込方法: 10月3日(水)9:00から電話または来館にて受付。



お問合せ・お申込み 〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号  
TEL:093-371-4649 FAX:093-371-4268

### 西部勤労婦人センター レディスやはた

#### レディスやはたフェスティバル2018

■日 時/10月13日(土) 9:00~17:00、10月14日(日) 9:00~14:30  
市内随一の本格的能舞台で、古典芸能鑑賞などをを行います。作品展示会、リンパマッサージ、ハンドメイド作品販売、ランチバザー(両日)などもあります。

##### 《10月13日(土)のイベント》

- ★日用品バザー 10:00~10:45
- ★南京玉すだれ・パルーンアート 12:00~12:30
- 出演:ひびき落笑会 ■定員:60名(要事前申込み)
- 定員:60名(要事前申込み)
- ★和太鼓 12:40~13:10
- 出演:太鼓表 鼓響
- ★舞台発表 13:30~14:15
- 出演:八幡大蔵会(英語通訳あり)
- 定員:60名(要事前申込み)

お問合せ・お申込み 〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉2丁目6番6号  
TEL:093-661-1122 FAX:093-661-2714

